

ワークショップ「緑のこどもアート」報告（美術科1年生有志団体「みどりのこ」）

開催日：11月22日（土）

時間：午前の部 10:30～12:00、午後の部：13:30～15:00

場所：有栖川宮記念公園（東京都港区）

親子参加型のワークショップ「緑のこどもアート」は、公園の自然を生き物に見立て、「親子一緒に普段あたり前のようにある木や葉っぱ、石ころをもう一度見てみよう」というコンセプトで行いました。

#### ■当日の様子

当日は晴天で、強い太陽の光で紅葉がとてもきれいな暖かい日でした。10時30分になると、参加親子が集まり、はじめて見る光景、知らないお友達や私たち学生に戸惑う子供たちの姿も。

プログラムは最初の挨拶の後に、「みんなでモジャリン（※1）のお友達をこの森にたくさん作ってあげたいねえ！」という投げかけでスタート！フカフカの落ち葉の上に敷いたブルーシートに座り、暖かな光がさす自然の中でのお絵かきは子供にとっても大人にとっても貴重な体験だったでしょう。自然物に目や口をつけ、公園内はまるで本当に命を吹き込まれたような生き物でいっぱいになりました。子供よりも楽しんでクレヨンを走らせるお母さん、ハサミを動かすお父さんの姿も印象的でした。最初は緊張していた子供たちも、公園内を走り回り、笑顔になっていました。

※1 あらかじめ大きな木に、画用紙で作ったまん丸の目、真っ赤な鼻、にかっと笑う大きな口をつけたお友達、「モジャリン」を用意しました。

#### ■企画への想いと感想

この企画は今から約20年前に私の恩師が、自然とアートと子供の共生を夢見て考えた企画をもとにつくったものです。私はこの恩師の想いを継いで実践したいと考え、今回の発案に至りました。

参加者の方に書いてもらったアンケートでは、

「少し見方を変えただけで、子供が普段遊んでいる公園の木々が、おもしろい生き物に姿を変え喜んでいました。」

「こんなにも落ち葉の上がふかふかだったなんて思いもしませんでした。」

「ワークショップの展開のすごさに驚きました。」

と、様々なご意見をいただき、ワークショップがもたらしたものについて改めて気づかされました。

外で遊ぶことが少なくなった今の時代の子供たちに自然、地球を想うきっかけづくりをこれからも続けて行きたいと思います。